

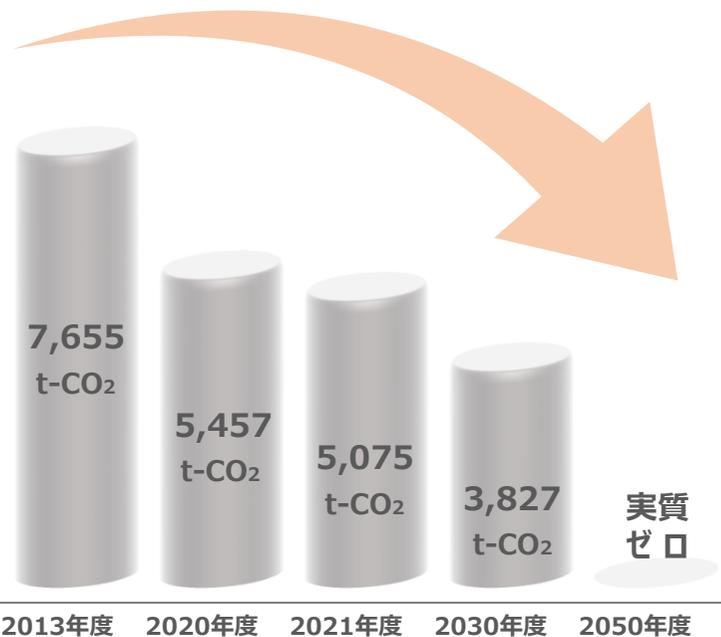
脱炭素化に向けた取組み方針について

岐阜信用金庫は、地球温暖化対策として脱炭素化への取組みを実践するとともに、脱炭素化やサステナブルな経営を目指す地域社会・お取引先を支援し、持続可能な社会の実現に貢献します

金庫内における取組み

二酸化炭素排出量の削減

- 2030年度までに二酸化炭素排出量を2013年度比50%以上削減します
- 2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとします



再生可能エネルギー電力への転換

- 2050年度までに使用電力の100%を再生可能エネルギー電力へ転換することを目指します

当金庫における脱炭素化・環境負荷低減への取組み

- 本部や店舗等のLED化による電気使用量の削減
- 省エネ性能の高い空調設備への更新による電気使用量の削減
- 店舗新設・建替時における太陽光発電や蓄電池設備等の導入
- 営業車両のHV・EV化の推進
- 紙使用量の削減
- CO₂フリー電気の購入



脱炭素化に向けた取組み方針について

岐阜信用金庫は、地球温暖化対策として脱炭素化への取組みを実践するとともに、脱炭素化やサステナブルな経営を目指す地域社会・お取引先を支援し、持続可能な社会の実現に貢献します

地域社会・お取引先の脱炭素化・サステナブルな経営実現に向けた取組み支援

- 当金庫はサステナブルなファイナンス機能の発揮や各種商品・コンサルティングサービスの提供を通じ、地域社会の環境負荷低減と地域のお客さまの脱炭素化支援に積極的に取組みます

■ サステナブルファイナンス目標（2022年度～2030年度）

- サステナブルファイナンス 5,000億円
- うち、環境分野（脱炭素）関連 2,500億円

※ サステナブルファイナンスの定義

- * SDGs、ESGを推進しているお取引先へのファイナンス
- * SDGs、ESGへの取組みを支援するファイナンス
- * 脱炭素化や省エネ等の環境問題に寄与するファイナンス
- * 社会問題の解決に資するファイナンス 等

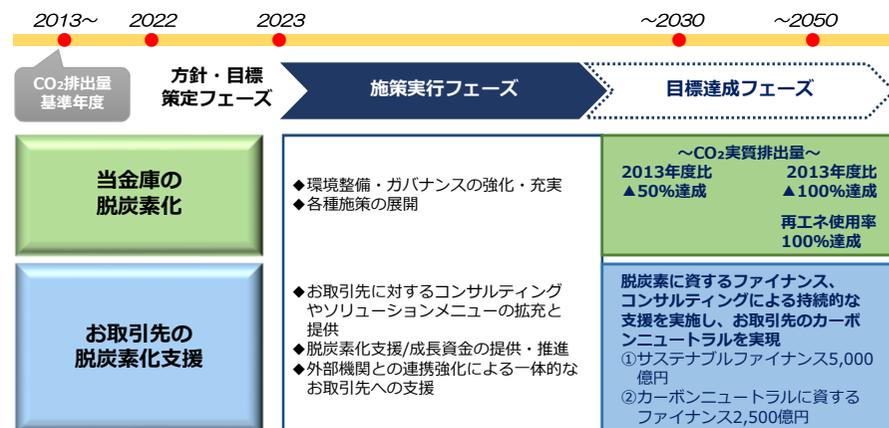
※ 環境分野（脱炭素）関連ファイナンスの定義

- * サステナブルファイナンスのうち、二酸化炭素等の温室効果ガス排出量削減（カーボンニュートラル）に資するファイナンス 等

地域のお客さまに対する脱炭素化支援の取組み

- 脱炭素化支援や省エネに資する専用商品の提供とファイナンスの実施
- CO₂排出量や削減量の算定、削減策や削減計画の策定支援等、各種コンサルティングサービスの提供
- 外部機関との連携を含めたセミナー開催等の各種情報提供

長期ロードマップ



令和5年度 脱炭素化へ向けた取組み事例

岐阜信用金庫は、地球温暖化対策として脱炭素化への取組みを実践するとともに、脱炭素化やサステナブルな経営を目指す地域社会・お取引先を支援し、持続可能な社会の実現に貢献します

金庫内における取組み

二酸化炭素排出量の削減に向けた取組み

- 5店舗の空調設備更新（冷水→空水）を実施 ⇒ 電気・重油使用量を削減
- 本部ビル全館のLED化を実施 ⇒ 電気使用量を削減
- HV車27台、水素自動車1台を導入 ⇒ ガソリン使用量を削減

脱炭素化へ向けた幅広い取組み

- リサイクル・リユース強化のための業務フローを確立
- グリーンボンドへの投資
- 気候変動リスク等の物理的リスクの可視化

地域のお取引先に対する脱炭素化支援の取組み

サステナブルファイナンスによる資金支援

- 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）」、「サステナビリティ・リンク・ローン（SLL）」への対応強化（令和5年4月1日 取扱開始）
- ⇒ 令和5年度 … PIF実行件数 52件、SLL実行件数 6件

脱炭素コンサルティングサービスの提供

- 業務提携先のe-dashによるCO2排出量の見える化
- SBT認定取得の認定支援
- 社外に見えるCO2排出量の削減目標設定
- 環境関連補助金活用の支援

